

令和7年2月3日

日本透析医学会 会員各位

一般社団法人日本透析医学会  
理事長 友 雅司  
担当理事 菊地 勘

### 「透析情報標準 HL7 FHIR 記述仕様」の厚生労働省標準規格への承認について

令和7年1月29日に、日本透析医学会および日本透析医会の分担研究者が参加する、「厚生労働行政推進調査事業 透析情報の標準規格開発並びに透析診療施設間の連携を支援する標準化に関する研究(班長 岡田美保子)」で作成、日本透析医学会が権利を保有する、「透析情報標準 HL7 FHIR 記述仕様」が、保健医療情報分野の標準規格(厚生労働省標準規格)として承認されました(以下 URL 参照)。

<https://www.mhlw.go.jp/content/10800000/001389373.pdf>

この厚生労働省標準規格は、都道府県知事や地方厚生(支)局長、関連団体に啓発されますので、電子カルテなどのベンダーにも影響を及ぼします。今後、厚生労働省において実施する医療情報システムに関する各種施策や補助事業等においては、厚生労働省標準規格の実装を踏まえたものとするとしています。現在、この厚生労働省標準規格は、医療機関等に対しその実装を強制するものではありませんが、標準化推進の意義を十分考慮することを求めるものとなっています。

透析情報標準 HL7 FHIR 記述仕様を策定し、透析施設間のデータ連携の基盤を構築したことにより、平時および災害時において、DXによる迅速な透析医療の提供が可能となると考えます。今後は、本規格の啓発と実装を促進し、透析医療に貢献していきたいと考えております。

なお、「透析情報標準データ項目」および「HL7 FHIR 記述仕様」は、本学会の委員会報告・その他に記載しておりますのでご参照ください。 <https://www.jsdt.or.jp/dialysis/2096.html>